

令和 5 年度進捗評価シート
斑鳩町歴史的風致維持向上計画（平成 2 6 年 2 月 1 4 日認定）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 歴史まちづくり計画の着実な推進に向けた取り組み	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 都市計画の活用(特別用途地区の指定)	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 歴史的風致形成建造物修理・修景事業	3
2 歴史的建造物修景事業	4
3 案内板等整備事業	5
4 道路美装化事業	6
5 電柱類景観改善事業	7
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財の保存・活用	8
2 文化財の修理・整備	9
3 文化財の調査	10
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
⑥その他(効果等)(様式1-6)	

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	11
-------------------------	----

評価軸①-1
組織体制

評価対象年度		令和5年度
項目		現在の状況
歴史まちづくり計画の着実な推進に向けた取り組み		☒ 実施済 ☐ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	庁内においては、計画策定段階の庁内組織を継承・発展させた関係課による推進体制として斑鳩町歴史まちづくり推進調整会議を設置し、文化財部門(教育委員会事務局生涯学習課)とまちづくり部門(都市建設部都市創生課)は、より密度を高めた連絡・調整を行う。また、国・県等の関係機関との協議を行うとともに、適切な支援を得るように努める。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
本計画の目的を達成するため、引き続き、斑鳩町歴史的風致維持向上計画(第2期)の策定をすすめた。また、第2期計画の策定にあたって、政策企画調整幹事及び政策企画調整員と取組事業について、調整を行った。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	掲載事業に限らず広く庁内の連携を取ることが必要である。	
状況を示す写真や資料等		
●第2期計画の策定に向けた取組事業の調整 第1期計画の最終年度であるため、政策企画調整幹事会議・調整員会議の開催はなし		

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和5年度
都市計画の活用(特別用途地区の指定)		☒ 実施済 ☐ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容

歴史的風致の維持向上のために歴史的建造物の保存・活用や空家・空地等を活用したまちあるき拠点の整備が求められ、そのためには、現行の都市計画の用途の緩和が必要であることから、特別用途地区の適用を検討しており、都市計画の適用については、まちづくり部門(都市建設部都市創生課)が担当する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成26年10月1日施行の法隆寺周辺地区特別用途地区内における建築物の制限の緩和に関する条例及び斑鳩町における特別用途地区の区域内における建築行為等に係る事前協議に関する要綱を運用し、当該区域内及びその周辺の良好な住環境との調和を図りながら、歩いて楽しむことができる店舗や飲食店等の立地を促し、もって活力とにぎわいのあるまちづくりを推進している。

令和5年度は、1件。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	引き続き、特別用途地区の利活用をすすめるため、制度周知を図る。

状況を示す写真や資料等

●地区の名称…法隆寺周辺地区特別用途地区

●地区の面積…24.9ha

●要綱に基づく事前協議件数 延べ11件

平成26年度 2件

平成27年度 1件

平成28年度 1件

平成29年度 0件

平成29年度 0件

平成30年度 2件

令和元年度 2件

令和2年度 0件

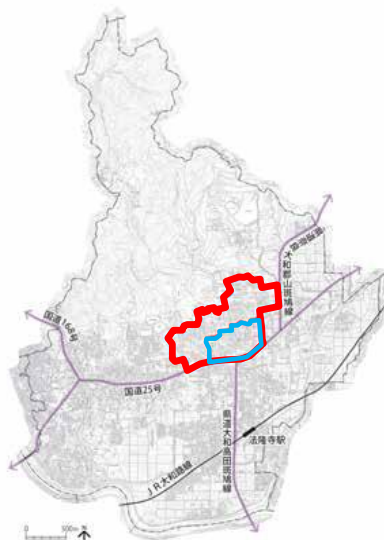
令和3年度 2件

令和4年度 0件

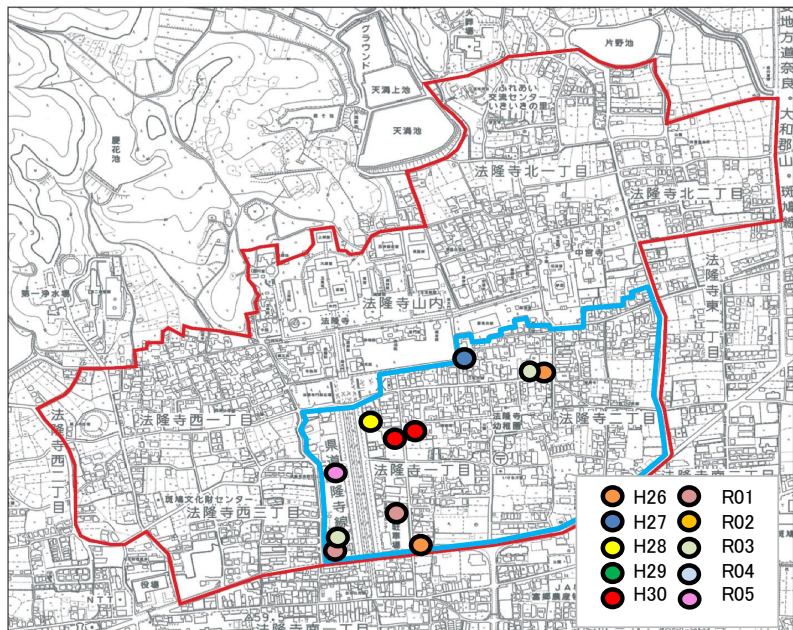
令和5年度 1件

※令和3年度は、増築、店舗変更となっている。

位置図



拡大図



凡例

要綱に基づく事前協議物件所在位置

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度
		現在の状況
歴史的風致形成建造物修理・修景事業		☒ 実施済 ☐ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成27年度～令和5年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 歴史的風致形成建造物として指定を予定している建造物については、順次、その活用とあわせて修理・修景を行う。事業にあたっては、建物調査を行い、伝統的様式の復元を基本として基礎調査をふまえ、それぞれの建物の特色に即した修理・修景を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

斑鳩町まちなか観光景観形成事業補助金を活用し、歴史的風致形成建造物として指定を行う建築物の修景整備により、良好な歴史的景観をすすめ、魅力あるまちあるきができるような環境を整える。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒ 計画どおり進捗している
☐ 計画どおり進捗していない

引き続き、修景事業を推進していく。

状況を示す写真や資料等

●活用実績

令和5年度 実施なし



評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度
歴史的建造物修景事業		☒ 実施済 ☐ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成27年度～令和5年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 主な歩行者ルートとなるところを中心に、外観の修景整備を行うことで歴史的町並みを整える。合わせて、歴史的町並みの連続性を阻害している建物や塀、空地などについては、歴史的町並みに調和するよう修景を行う。修景にあたっては、策定予定のガイドラインに沿って、自然素材を用いた地域の伝統的デザインを踏襲することを基本とする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

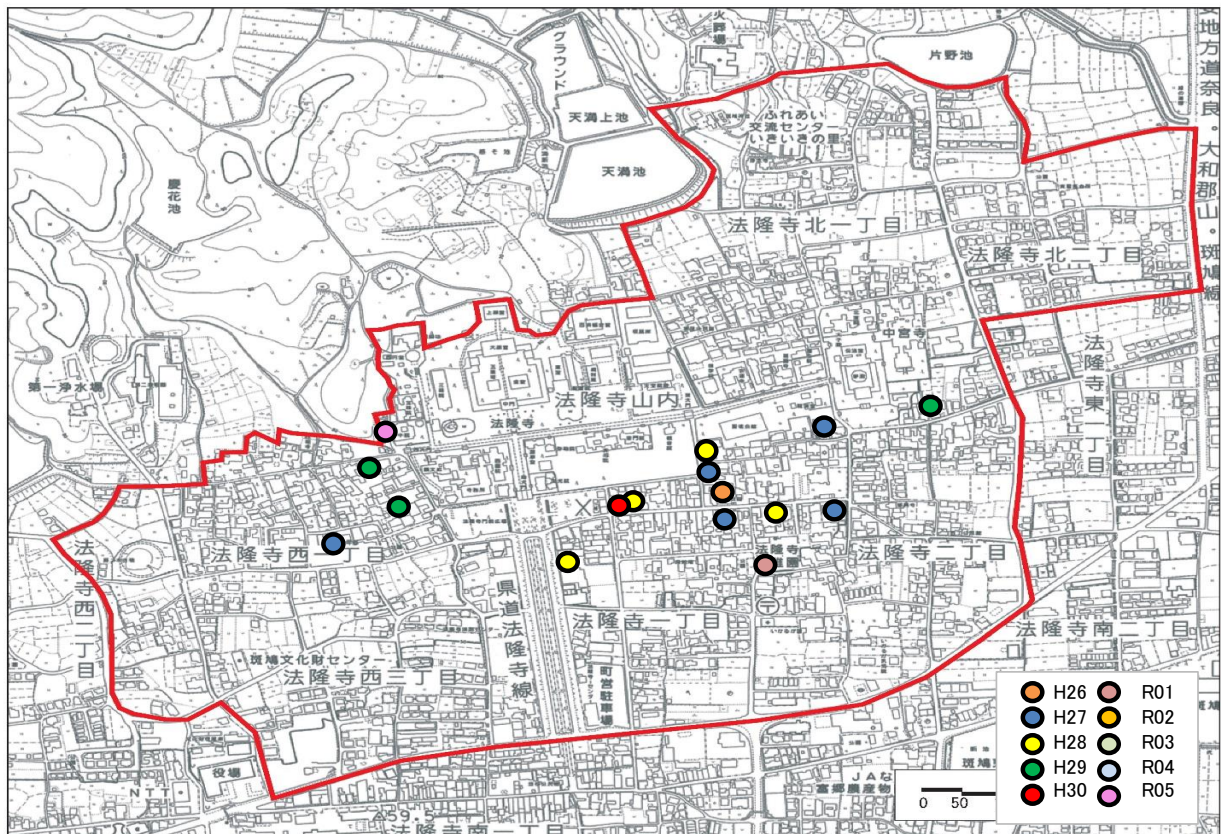
法隆寺周辺地区における建築物や外構に対し、望見可能な前面部分の修景工事に伴う費用の一部を助成し、町並みの連続性を創出している。年間に複数件を継続して修景整備を行っていく。
令和4年度は、実績なし。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	引き続き、修景事業を推進していく。

状況を示す写真や資料等

●活用実績 延べ16件

平成26年度 1件	平成27年度 5件	平成28年度 4件	平成29年度 3件
平成30年度 1件	令和元年度 1件	令和2年度 0件	令和3年度 0件
令和4年度 0件	令和5年度 1件		



評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度
案内板等整備事業		現在の状況
		☒ 実施済 ☐ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成30年度～令和5年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)、町単独事業

計画に記載している内容

これまで様々な事業で案内板や案内サインの設置に取り組んできたが、その誘導システムを見直し、これらに加えて、まちあるき観光の誘導に必要な、わかりやすく、歴史的町並みに調和するデザインの案内板、案内サインを設置する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

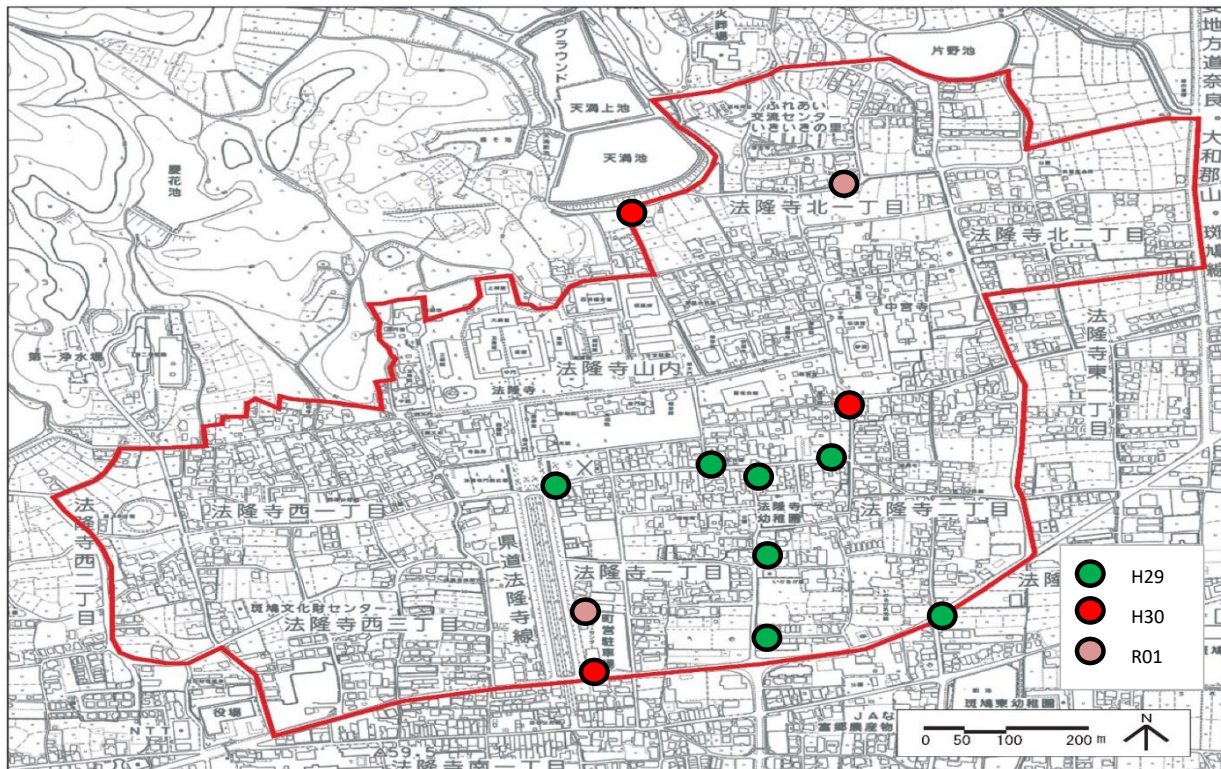
法隆寺周辺地区の歴史的風致を形成する文化財や観光地として必要な施設等、まちあるき観光を図るための観光案内サインの整備を行っていく。また、観光案内サインについても、町並みに調和したデザインとする。

令和元年度の整備をもって、重点区域内の観光案内サイン整備は完了し、観光客等にわかりやすく、効果的な案内が可能となった。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	事業完了

状況を示す写真や資料等

●主な整備箇所



評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度
道路美化事業		現在の状況
		☒ 実施済 ☐ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成28年度～令和5年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 法隆寺門前の参道については、歩行者空間が美化化されているが、歴史的町並みの残る集落の道路はアスファルト舗装の車道になっており、連続した歩行者ルートとなっていない。回遊性を高めるため、三町地区に位置する町道202号線をはじめとした、まちあるき観光拠点をめぐるルートについて、舗装の美化化を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

法隆寺周辺地区のまちあるき観光拠点をめぐるルートについて、一体的な歴史的風致を形成するため、道路舗装の美化化を行っていく。
令和5年度は、実績なし。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	電柱類景観改善事業にあわせて実施する予定であったが、電柱類景観改善事業の再検討が必要となり、その結果を踏まえて道路美化事業を進展させていく。

状況を示す写真や資料等

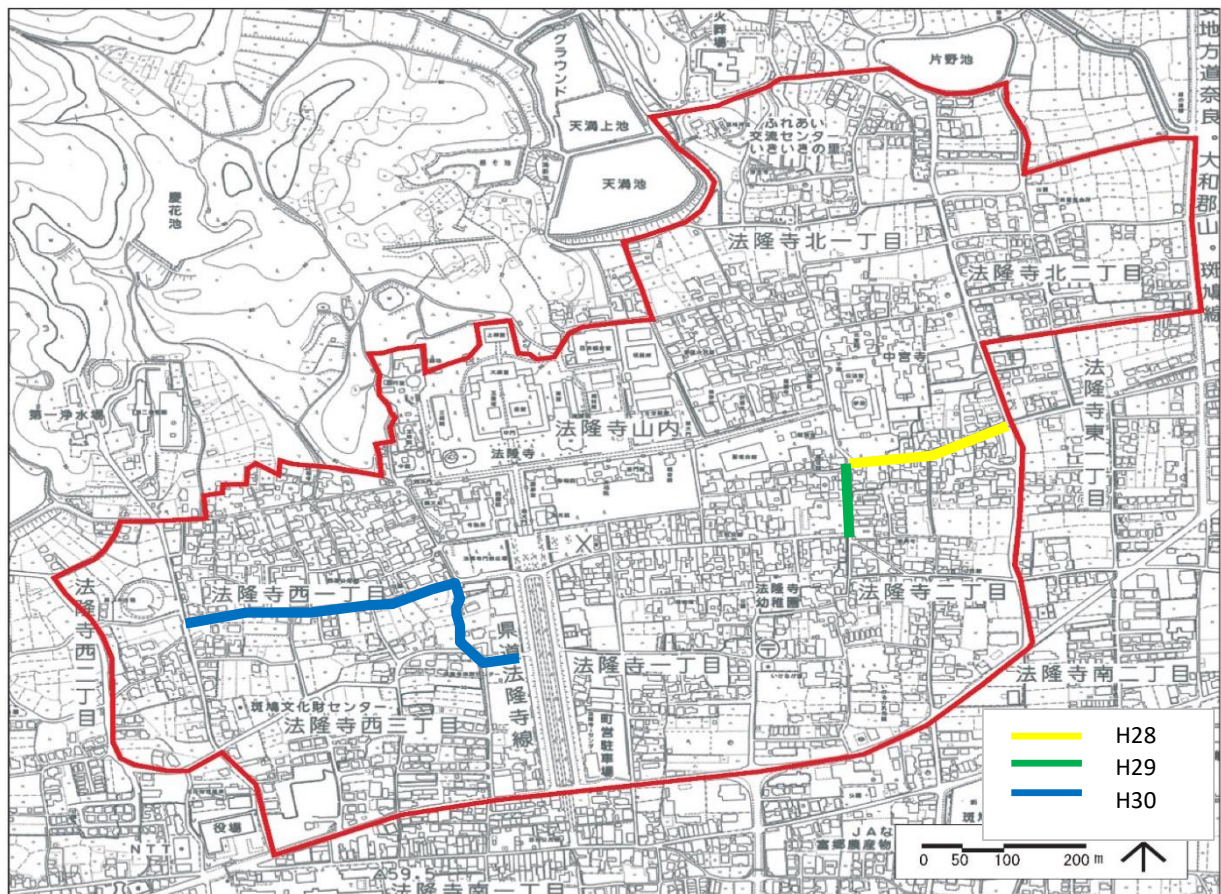
●施工実績

平成28年度 町道203号線 L=200m

平成29年度 町道204号線 L=185m

平成30年度 町道102号線 L=106m、町道110号線 L=327m

令和元年度～令和5年度 実績なし



評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
電柱類景観改善事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成28年度～令和5年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)、町単独事業		
計画に記載している内容	無電柱化は歴史的町並みを生かす上で、効果の高い取り組みであり、これまでも、重点区域内である西里地区内の2路線で無電柱化を実施した。今後、歴史的佇まいが色濃く残る道路(町道202、218号線など)を中心に、それぞれの路線に応じた工法を検討し、無電柱化等電柱類の景観改善を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
法隆寺周辺地区のまちあるき観光拠点をめぐるルートについて、一体的な歴史的風致を形成するため、電柱類景観改善事業を行っていく。 令和5年度は、実績なし			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない		電線事業者との協議が難航しており、電柱類景観改善事業の進捗が芳しくない。効果的・効率的に事業をすすめるため、事業の再検討を行う。	
状況を示す写真や資料等			
●実施実績 平成29年 三町地区無電柱化整備に向けた電柱類改善事業検討業務委託			

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度
文化財の保存・活用		現在の状況 ■実施済 □実施中 □未着手

計画に記載している内容	斑鳩町は、法隆寺等で構成される世界文化遺産を中心に、全国的にみても重要な文化財が保存され、継承されてきた。こうした歴史的・文化的資源を、地域に暮らす人々とともに再認識し再評価することによって、世界文化遺産と一体となった歴史的風致として保存・活用する。
-------------	---

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 文化財の普及・啓発などを実施し、文化財に触れ合う機会を創出することにより、歴史的風致の保存・活用につながった。
 - ・史跡藤ノ木古墳石室特別公開の開催
 - ①春季
 - ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事前申込み制で開催(5月13日(土):138人、14日(日):92人)
 - ②秋季
 - ・事前申込み制(当日参加あり)で開催(11月25日(土):182人、26日(日):168人)
 - ・斑鳩文化財センター(利用人数:人/年)における展示会の開催
 - ①春季企画展「世界遺産登録30周年記念 日本の世界遺産展」開催期間:令和5年5月27日(土)~6月25日(日)(759人)
 - ②速報展「令和4年度 いかのがパークウェイの建設に伴う発掘調査成果」開催期間:令和5年7月22日(土)~8月27日(日)(525人)
 - ③秋季特別展 世界遺産登録30周年記念「法隆寺地域の仏教建造物」開催期間:令和5年10月21日(土)~12月17日(日)(1,876人)
 - ・講演会・講座の開催
 - 春季企画展開催に伴う歴史講演会(90人)/秋季特別展開催に伴うシンポジウム(150人)
 - ・講座・教室等の開催
 - ①「こども考古学教室」(全2回) 1. こども勾玉づくり教室 2. こども鏡づくり教室
 - ②「斑鳩考古学講座」(全1回) 1. 文化財めぐり「まなび旅あるき旅 in 斑鳩の文化財」
 - ・文化財資料図書の刊行
 - ①秋季特別展展示図録
 - ②『斑鳩文化財センター年報 第13号』
 - ③『中宮寺跡周辺遺跡発掘調査報告書』
 - ・県立法隆寺国際高校による藤ノ木古墳石室特別公開のボランティア活動
 - ・文化財の保存・活用に関わる住民や各種団体によるボランティア活動
 - ①法隆寺等における観光ガイド
 - ②斑鳩文化財センターにおける受付および展示品解説等
 - ③藤ノ木古墳の除草作業や中宮寺跡の植栽などのボランティア活動
- 世界遺産を活用したライトアップイベントを実施し、歴史的風致を形成する法隆寺の歴史的価値の再認識につながった。
 - 事業名「和のあかりと未来へのひかり」
 - 事業名「世界遺産登録30周年記念 法隆寺 特別ライトアップ IN 斑鳩」
- 脈々と受け継がれてきた世界遺産をはじめとする普遍的価値を可能な限りありのまま後世へ継承し、地域が一体となって新しい価値の創造や地域の活性化、経済的発展につなげ、いかに「持続可能なまち」をデザインし、またいかに地域を担う人材を創出していくのかを考える機会につながった。
 - 事業名「第10回 世界遺産サミット in 斑鳩」
- 文化財の防犯体制を周知し、防犯体制を整えた。
 - 文化財の防犯体制の徹底についての通知文書を指定文化財の所有者または管理者に渡すとともに、日常管理や防犯体制について再確認いただくよう依頼した。併せて、何か異常等がある場合、教育委員会に連絡するよう依頼した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	引き続き、文化財の普及・啓発に関する事業を推進して行く。

状況を示す写真や資料等



斑鳩文化財センター展示会(春季企画展)



秋季特別展開催に伴うシンポジウム



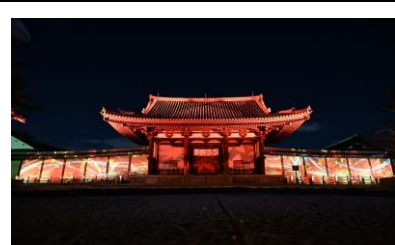
こども考古学教室(勾玉づくり教室)



史跡藤ノ木古墳ボランティア活動



第10回 世界遺産サミット in 斑鳩

世界遺産登録30周年記念
法隆寺特別ライトアップ IN 斑鳩

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		令和5年度
項目		現在の状況
文化財の修理・整備		☒ 実施済 ☐ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	斑鳩町は、法隆寺等で構成される世界文化遺産を中心に、全国的にみても重要な文化財が保存され、継承されてきた。こうした歴史的・文化的資源を、地域に暮らす人々とともに再認識し再評価することによって、世界文化遺産と一体となった歴史的風致として保存・活用する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
●文化財の修理・整備・など ・法隆寺内の東院礼堂の保存(維持)修理工事の実施 ・法隆寺における文化財防火デー防火訓練の実施など 文化財の補修・修理を行うことで、後世に受け継いでいくことができ、歴史的風致として保存・活用ができた。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	引き続き、文化財の修理・整備に関する事業を推進して行く。	
状況を示す写真や資料等		
 法隆寺東院礼堂の保存(維持)修理工事  文化財防火デー防火演習		

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
		現在の状況	
文化財の調査		☒ 実施済 ☐ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	斑鳩町は、法隆寺等で構成される世界文化遺産を中心に、全国的にみても重要な文化財が保存され、継承されてきた。こうした歴史的・文化的資源を、地域に暮らす人々とともに再認識し再評価することによって、世界文化遺産と一体となった歴史的風致として保存・活用する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
●文化財の調査など ・町内遺跡における発掘調査の実施 ・平成30年度から令和4年度までの5か年間、国庫補助事業として実施した中宮寺跡周辺遺跡の範囲確認調査の成果を取りまとめた発掘調査報告書の作成 ・奈良大学との共同調査による舟塚古墳の発掘調査の実施および現地説明会の開催 ・奈良大学との共同調査による戸垣山古墳の発掘調査および八子畑古墳の測量調査の実施 文化財の調査を行うことで、歴史的・文化的資源の調査・保存・活用につながった。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		引き続き、文化財の調査に関する事業を推進して行く。	
状況を示す写真や資料等			
令和5年度調査等写真			
			
発掘調査(舟塚古墳)(※奈良大学との共同調査)			
			
現地説明会(舟塚古墳)(※奈良大学との共同調査)			

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和5年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称:斑鳩町歴史まちづくり推進協議会	
会議等の開催日時:令和5年11月21日	
○歴史的町並みの連続性は、まちあるき観光にとって重要であり、引き続き事業に取り組んでほしい。 ○町並みの繋がりが途切れて、かえって不自然に思うところがある。いかに民間所有の建造物を計画に基づいて検討してもらえるかということを考えてすすめてほしい。	
(今後の対応方針) ・歴史まちづくり、観光まちづくりをすすめていくため、第2期計画として引き続き、取り組んでいく。	